

I  
「浜田コレクション目録」



## 解 説

『東洋文庫研究部内陸アジア研究部門中央アジア研究班敦煌吐魯番資料に見る多元的宗教社会研究グループ』に所蔵され、表紙に「浜田コレクション目録」とある本目録は、B4判用紙を二つ折り袋綴じでB5判としたものでページ番号は30まで現存し（三八頁参照）、それ以降の存在の有無はわからない。奥付が現存しないため、発行年月日は不明である。ただし、「序」で昭和三年の浜田徳海氏の逝去にふれていることから、それ以後の作成であることがわかる。

表紙には題名のほか、右下に「敦煌文献研究委員会」の印があり、題名の右には赤鉛筆で「國會図書館購入」の書き入れがある。「敦煌文献研究委員会」は東洋文庫内の中国研究部門に存在した委員会で、唐代史研究委員会に改組され、現在は『東洋文庫研究部内陸アジア研究部門中央アジア研究班敦煌吐魯番資料』に見る多元的宗教社会研究グループ<sup>1</sup>となっており、この目録の所蔵先を表している。

その内容は、一八六件の中国の経典の後に、「日本の部」三二件が配列されているが、「日本の部」には続きがあった可能性があることに留意が必要である。目録に番号はなく、内容に重複がある。配列は、重要文化財、重要美術品を先に並べ、その後、経典ごとに配置する。

記述方法は、「○」の下に経典名を記し、行を変え、経典名より二段下げで、その内容を注記する。第一行目に、経典の出土地や書写年代を推定しているのも特徴的である。年代は概ねやや古く判定している。

なお、「日本の部」は、三二件中五件に「田山審定」の語がある。この

「田山」とは、一九六〇年（昭和三五年）に文化財保護委員会事務局美術工芸課書跡調査係の主査であった田山信郎氏（号・方南）のことと考えられる。本目録の「西域法宝遺韻」に「方南学人題」とあり、「序」に「その後国内に於いても重要文化財保護委員会等の援助を受けて、我国に伝来し、国内で四散していた中国経巻と、和経の蒐集を続け」とあることから、文化財保護委員会の援助を受けていたことがわかる。

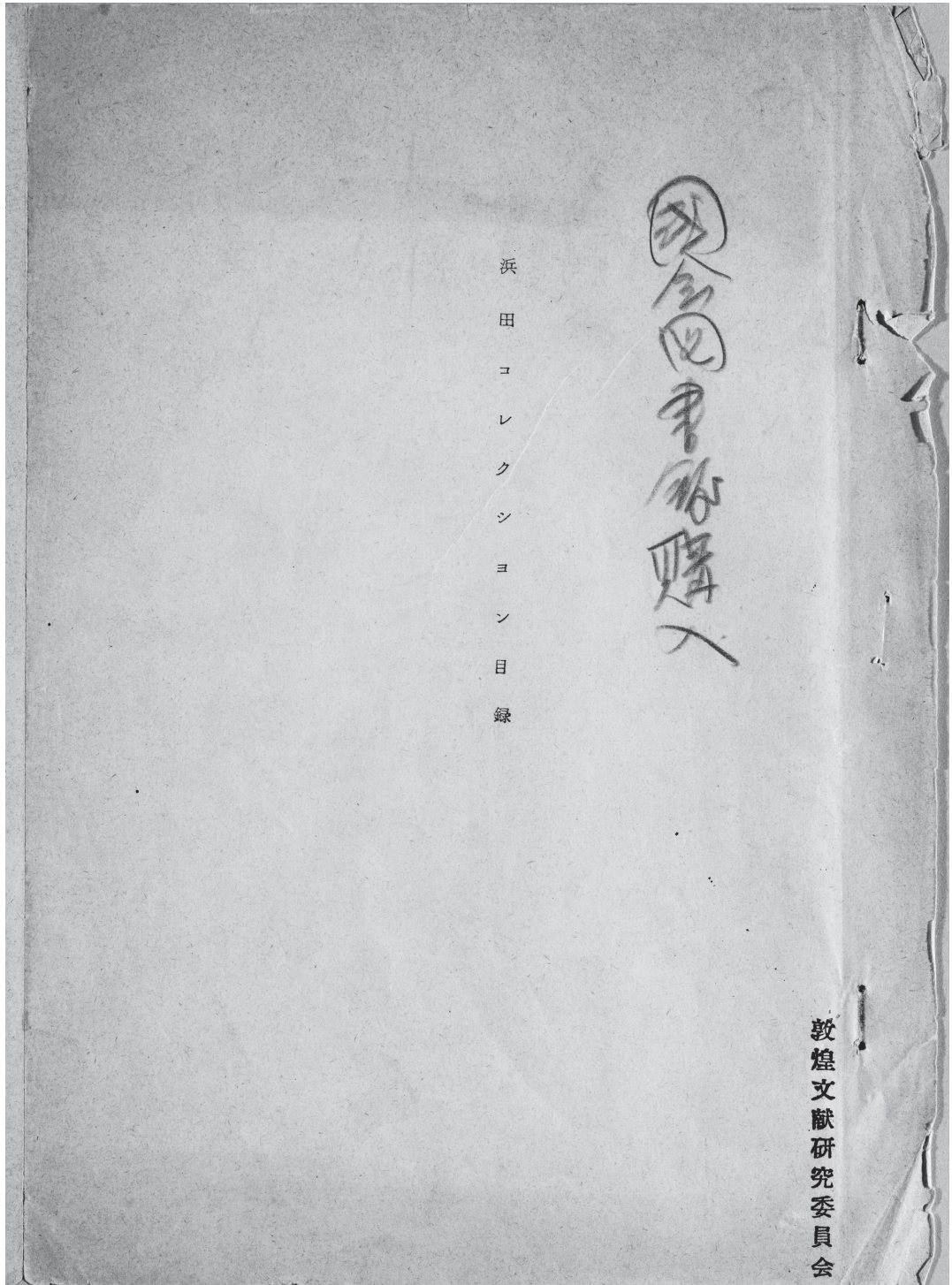
田山方南と濱田コレクションの関わりについては、本書岩本篤志論文三三八頁を参照されたい。

本書では、まず、目録の写真画像をグレースケールで掲載した後、「序」の録文と目録本体の内容を表として整理・掲載した。

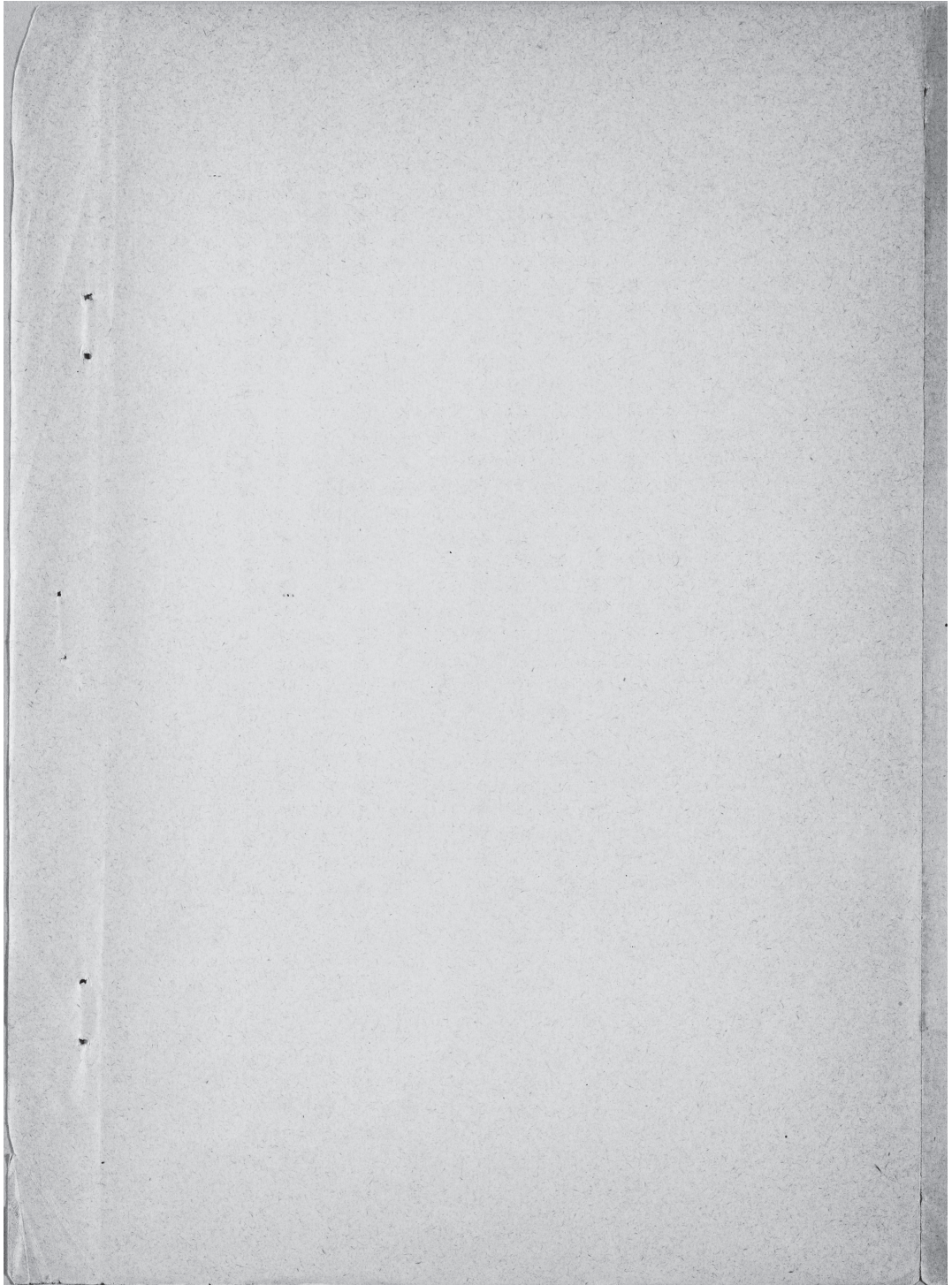
表では、掲載順に各経典に番号を振り、一行目の題名と二行目以降の説明とを分けている。表記は可能な限り、原資料に近い字体を用いて表記したので、誤字もそのまま載録している。

表でつけた番号のものを本目録の画像で確認できるよう、図版ページの上部に番号をつけた。





I 「浜田コレクション目録」 図版



## 序

浜田徳彦は昭和十三年大蔵書記官として上野陸軍新設軍財政顧問となり、昭和十九年再び中国に渡り、大使館参事官兼大蔵書記官中華民国國民政府財政顧問となり、二十一年帰朝後、中国の史地を踏破して、美仏等の権威にもかゝらず尙中国全土に四散していた古代重要経典多数を蒐集した。その後国内に於いても重要文化財保護委員会等の援助を受けて、我国に伝来し。国内で四散していた中国経巻と、和経の蒐集を続け、その若年の頃よりの深い宗教心と精力により、本コレクションを成したものである。

不幸病を得て昭和三十三年逝去したが、本コレクションが愛蔵され、釋を中心とする仏教思想の原典としての宗教的価値と、藝文としての美術的価値並びに歴史的価値が、人類文化の為に正しく生かされて行つたならば、故人の意志は全うせられるであらう。

中国文字は漢代（二〇〇〇年前）は隷書であり、六朝時代から楷書になり、唐時代（七〇〇）〜一五〇〇年前）にそれが完成された。我國の聖武天皇の天平十五年（七一〇年前）の写経には、その時代の中国よりの強い影響を見ることが出来る。

浜田コレクションは、太素の愛好により書道の黄金時代を現出した唐時代を中心に六朝、隋、唐、宋より明、清、中華民国に至る中国写経の逸品と、仏教が我國に伝来した聖德太子の大和時代（西暦六〇〇〜七〇〇年）から聖武天皇、光明皇后の奈良時代、弘法大師の平安時代（西暦八〇〇〜一三〇〇年）の和経より成り、国立博物館や皇宮展に度々出陳された貴重共に

世界に誇り得る写経のコレクシオンである。

尙徳教館写経とは、一八九九年(明治三十三年)から一九〇九年(明治四十三年)にかけて、日本や西歐諸國の學者が中國の新彊省から甘肅省西部の敦煌にわたる地方の探検をして、この洞窟の發掘を中心に、それ迄知られなかつた貴重な資料を學界に紹介した内、写経關係で英國のスタイン探検隊(大英博物館所蔵)、仏國のペリオ隊(フランス國民圖書館所蔵)、日本の本願寺隊がもたらした取経のことを指してゐる。これ等の写経は、当時敦煌が、天山北邊、全路の分岐点にあたり、北はシベリヤからイラン、南はインド方面への交通の要路に當つてゐることを示す。仏教、摩尼教、景教、祇教、道教、「薩教」などの諸宗教を始め、ペルシヤ系トルコ系、蒙古系、ギリシヤ系、ヘブライ系等の歌曲、小説まで含み、世界の歴史、宗教、美術、印刷技術等の研究に一大革命を起したのであるが、本コレクシオンは、本邦で最も優れたものである。尙、分類は便宜上経題別とした。



~1~

重要文化財

- 神会荷沢齋録殘卷（教總出土） 一巻  
 唐貞元八年十月二十二日發願の奥書あり。原稿存す。  
 （昭二六・一・三〇と二・一 大正星室齋院開文参照）

重要文化財

- 歴代法宝記（教總出土） 一巻  
 我國にはこの一巻を存するのみ。大英博物館・巴里國民圖書館に各一巻宛存すのみ。  
 善法亦大佳。

重要文化財

- 遼摩訶經論 一巻  
 教總出土本中遼摩大綱所遺として伝わっているものが二つありて、一つは「信心論」  
 他はこの「絶觀論」である。

庶美

- 大般涅槃經 卷第二十三 代表的唐写經  
 李盛鐸旧蔵あり。（六八五年造紙元年）  
 見返し着色電神像あり。

~2~

重美

○ 般若波羅蜜經疏 卷第二十(首欠)  
隋寫經にしてかく完全なるものは極めて稀であるに如し。書体も代表的大朝寫經である。

重美

○ 仏說摩訶經(首欠) 一卷  
大宋咸平二年十一月 日祝場列位。宋代の代表的寫經であり、実に稀價の妙具である。

重美

○ 維摩詰經(大朝古鈔) 卷下  
晉代寫經にしてかく完全なるものは珍しい。代表的大明寫經。首欠、尾題存。

重美

○ 究竟大慈經 卷第一(首欠)

重美

○ 版本宝篋印陀羅尼經 本項 完本  
杭州雷峯古塔藏經。再録題字あり。扉仏圖あり。

- (敦煌出土經) 入持伽藍仏性品 第十一
- (敦煌石室所藏唐人写) 法華經
- (敦煌出土唐写) 大方便仏報恩經 卷一
- (敦煌出土) 大通方広経 中卷 (初唐時代)  
唐咸亨四年写。全長十八尺二寸五分。上卷松本文三郎。下卷大英博物館蔵。
- (敦煌出土) 仏名経 断卷 (盛唐時代)
- (敦煌出土) 大方便仏報恩経 卷第二 (初唐時代)  
朱字経。黄麻紙。書法秀潤。
- (敦煌出土) 維摩詰経菩薩行品 第十二 断卷 (盛唐時代)
- 妙法蓮華経 妙音菩薩品 第二十四  
武徳六年三月七日の奥書あり。裏付古写経。
- 妙法蓮華経 卷第八 (初唐時代)  
妙莊嚴王本事品第廿七及び普賢勸発品第廿八を収む。「影法藏」。全長十一尺九寸九分。

- 妙法蓮華經 藥果品 第廿二
- 妙法蓮華經 卷第四 (敦煌出土、完存。六朝時代)  
藥草喻品の内「爾時大通如勝如來」より始まる。尾題存。全長八尺三寸。
- 妙法蓮華經 卷第六 (六朝初、晋に近し)
- 妙法蓮華經 卷第六 (初唐)  
首題妙法蓮華經常不經菩薩品第廿。尾題存。
- 妙法蓮華經 從第五至第七
- 妙法蓮華經 安樂行品第十四 (初唐(六朝末))  
盛唐時代の細字經、原裝を存す稀品なり。
- 妙法蓮華經 殘卷 (中唐写)
- 妙法蓮華經 藥王菩薩本事品第廿二 (盛唐) 中唐時代)
- 妙法蓮華經 譬喻品第三 (重藏 P. 11, P. 12)  
中村不折著定

~5~

- 妙法蓮華經 卷第二 (盛唐)  
 管帶品第三より佛身品第四に盡る。宛存。顯慶五年三月十四日の奥書あり。
- 妙法蓮華經 卷第四
- 妙法蓮華經 卷第七
- 妙法蓮華經 卷第五  
 分別功德品第十七 授記品第六
- 妙法蓮華經 卷第四 (現唐)  
 第五百弟子受記品第八より持品第十三に盡る。宛存。
- 妙法蓮華經 卷第三 (唐代)
- 妙法蓮華經 妙法蓮華王本誓品第廿七
- 妙法蓮華經 卷第二 經卷  
 菩薩瓔珞子令攝文並敬造

~3~

○ 妙法蓮華經 隨喜繪巻第十八  
古版紙

○ 大般涅槃經 卷第十一 北涼曇摩讖訳 「中唐」  
發行品第十九より繪まり完存。全長三十八尺五寸六分。

○ 大般涅槃經 卷第七  
(院又は初唐時代)

○ 大般涅槃經  
(六朝、附著くは少し以前)

○ 大般涅槃經 第一 (六朝)  
開皇十七年四月十日の奥書あり。首次尾完。

○ 大般涅槃經 卷第六 北涼曇天職訳 (盛唐)  
首次。「唐時世界読書」より繪まる。尾端存す。全長十七尺九寸。

○ 大般涅槃經 卷第十五  
隋 大業四年十二月十五日の奥書あり。

~7~

- 大般若涅槃經 卷第卅一 (敦煌出土。初唐)  
完存。全長二十五尺四寸六分。一紙四尺八寸に及ぶ長麻紙使用。
- 大般若涅槃經 卷第卅七 (六朝)  
首欠。尾題存。書法の進動にして妍雅なることその比を見ず。
- 大般若波羅蜜多經 卷第廿七 (中唐)  
首欠。全長二十三尺六寸七分。
- 大般若波羅蜜多經 卷第六十七 (六朝)  
懷惠助興書あり。
- 大般若波羅蜜多經 卷第九十四 (初唐)
- 大般若波羅蜜多經 卷第百七十四 (初唐)  
完存。
- 大般若波羅蜜多經 卷第百八十四 (初唐)  
首欠。尾題存。

- 大般若波羅蜜多經 卷第三五一 (敦煌出土、唐又は五代)  
見返し扉紙、彩色菩薩圖。一馬圖。
- 大般若波羅蜜多經 卷第三二八 (晚唐)  
首欠。「讀其如甚深故」より始まる。尼抄写の奥書あり。全長二十一尺二寸七分。  
軸付に「大蕃歲次戊戌年三月二十五日學生張子孫本写故記之也」とあり。
- 大般若波羅蜜多經 卷第四八四  
建中二年歲次辛酉十二月朔日仏弟子孫潘敬雲の奥書あり。完存。全長二十七尺七寸三分。
- 大般若波羅蜜多經 卷第四八五
- 大般若波羅蜜多經 卷第五二三 (初唐)  
制長安西明寺正字。「大周長安三年歲次癸卯七月丙辰朔四日王康法師」の奥書あり。
- 大般若波羅蜜多經 卷第五二三  
制長安西明寺正字朱印。三藏法師の奥書あり。



~9~

- 大般若波羅蜜多經 卷第五三九 (晚唐)  
尾欠。全長十九尺二寸五分。
- 大般若波羅蜜多經 卷第五九三 (初唐)  
首欠、尾題あり。光緒年の奥書あり。
- 大般若波羅蜜多經 殘卷
- 大般若波羅蜜多經 新菩薩經 一卷
- 金剛般若波羅蜜多經
- 金剛般若波羅蜜多經 (盛唐)  
原軸存。完存。全長十八尺四寸六分。
- 波羅蜜多經 斷卷 第六十六卷 第五
- 仏名經 殘卷 (六朝)
- 仏名經

~10~

- 仏名経
- 仏名経 断巻 (晚唐)
- 仏名経 残巻
- 仏名経 彩色仏画入り。
- 仏名経 彩色仏画入り。一行一体十二体。
- 仏名経 卷第三 (唐)  
敦煌千仏洞より出る。光緒貳拾伍年。
- 千仏名経断片 仏画付。
- 正法華経 卷第七(板本) 西晉竺法護訳  
金藏経。広勝寺版。見返し版面釈迦説法図。右上に「越城果広勝寺」とあり。  
金正隆二年間。全長三十四尺六寸三分。
- 法華経 卷第二

- 金光明經 卷第四 (中唐)  
流水長者子品第十六より始まり完存。奥に「浄土寺藏經」の墨印あり。全長二十二尺七寸六分。
- 金光明經 卷第六  
頭欠尾完。
- 金光明經 卷第九 (晚唐)  
完存。
- 金光明景勝王經 卷第十 (晚唐)
- 金光明經  
福州開元寺之印。木版經。
- 虚空藏菩薩神呪經  
金藏經。原表紙原軸、原紐付完本。
- 金七十論 上 一卷  
金藏經。趙城県広勝寺板。見返り、木版仏画あり。

〇 127

〇 金七十論 下 一卷

魁城県広勝寺板。見返り、木版仏画あり。

〇 阿毗達磨発智論 卷第八

趙城県広勝寺板。

〇 阿毗達磨発智論 卷第八

金板。正隆二年刊。

〇 阿毗達磨発智論 卷第十

金板。正隆二年刊。

〇 仏説菩薩念誦三昧經 卷第六

金説經。補鈔本 一卷。

〇 仏説菩薩念仏三昧經 卷第六

唐、木版經。見返り扉絵あり。

〇 仏説大乘莊嚴宝王經 卷第三

金大藏經。見返仏画。

~13~

- 大乘无量寿经  
唐经神赞。细字经。完存。全长七尺七寸。西藏文字のみえたるは珍らしい。  
(中唐)
- 仏説八陽神呪经  
首欠。奥書、清信佛弟子瓜州行軍兵馬都督曹盧安多発心抄写持誦一心受持。  
別筆 比丘道真勘定。  
(中唐)
- 仏説八陽神呪经  
大平興福九年歳次乙酉年十月五日。甲申年五月六日報恩寺栄経提の表書あり。  
完本  
(五代)
- 仏説尊勝陀羅尼经  
(五代)
- 仏説釈摩男菴  
唐人写。善持願。  
(五代)
- 諸星母陀羅尼经

~14~

○ 仏説法句經 冊子本  
一頁五行。全六十頁。

(後唐)

○ 仏説藥師經

(盛唐)

○ 仏説藥師經

見返り屏繪。彩色仏圖あり。

○ 藥師經 三十五

(六朝)

首欠。尾題存。

○ 仏説阿鉢陀經

(六朝人字經)

大唐景龍四年歲以淨成四月壬午朔十五日。宋印あり。

○ 大方広仏華嚴經 卷第二十六

見返り屏繪あり。

○ 華嚴經 卷五十一

○ 大藏元經 卷第九 毗婆沙仏金剛 (晉代)

前僧女張重慶所供養經。唐在永寧正月十一日写。全長十圍尺七寸三分。

~15~

- 大方広十輪經 卷第七  
唐時代木版経。見送り扉絵あり（木版）。
- 大方便仏報恩経 第二  
宋木版経。見送り扉絵あり（木版）。
- 大方便仏報恩経 第二  
盛唐時代の写経中、稀に見る精品。原裝。
- 恩益梵天所問経 第一  
原裝存、完本。尾題「恩益經卷第一」。表紙は「仏本行集經卷第十圖」のものに  
加せり。表紙に「瓜沙州大聖圖」の余印半分存。全長二十四尺八寸九分。  
（中唐）
- 恩益梵天所問経 卷第一、第二（網字経）  
瓜沙経の印あり。全長二十九尺三寸六分。中村不折審定。  
（中唐）
- 方便品 第二 弟子品 第三  
（六朝）
- 維摩詰経

~16~

○ 續藏經 上卷  
首欠、尾題存。  
〔續藏〕

○ 維摩詰經 殘卷

○ 西藏文字藏經  
黃檗道純卷 一冊 十八張  
〔續藏〕

○ 西藏文字藏經  
六張  
〔續藏〕

○ 西藏文字藏經  
黃得道經卷 新卷。首欠。尾殘。

○ 西藏文字藏經 一卷  
〔南藏〕

○ 寫經 古代中央亞細亞語  
朱字、初字、木版經十二卷。

○ 寫經 古代中央亞細亞語  
朱木版經四卷。



~17~

- 写経 古代中央亞細亞語 二十卷
- 楞伽經 卷第四 法成訳 (摩唐)  
首欠、尾完、尾函存。
- 四分戒本 後秦仏陀耶舎訳 (晚唐)  
二筆分写。完存、全長三十二尺三寸三分。中村不折審定。
- 羯磨文 一卷 (六朝)  
細字経。首尾欠。麻紙。全長十二尺五寸五分。
- 羯磨本 殘欠本  
西魏頃以前。
- 浄名経 関中疏 唐道披撰  
細字経。浄名経注疏として有名。現存は、仏及び英博物館及び本巻のみ。  
盛唐時代の原装を存せる一大長巻。
- 浄名関中釈批巻 卷上  
乙 日常共記の奥書あり。

~18~

- 大智度論 卷第十七 (六朝)  
首欠。「三昧願智者」より始まる。尾題「大智度論第十七」。全長十四尺六寸一分。
- 大智度經 卷第廿二 断卷 (六朝)
- 觀世音普門品
- 道教叢書 殘卷  
六朝人写。
- 大仏頂萬行首楞嚴經 卷第三 断卷 唐 綾刺装帝釈 (唐唐)  
首欠。「別計度但有」より始まる。尾題存。
- 大仏頂首楞嚴經 卷第九 (中唐)  
如来蜜回修証了義諸菩薩萬行。完存。首楞嚴經中古写經としては殆ど最古のもの。
- 大唐垂拱元年奉勅翻大衆頌讚經 卷上
- 唐人書經

~19~

- 敦煌經斷卷  
首尾欠。界種留……世月  
(初唐)
- 敦煌經斷卷  
首尾欠。二雨然中……心中悟  
(初唐、草字經)
- 敦煌經斷卷  
細字經積義。  
(唐から五代頃)
- 敦煌經斷卷  
(唐)
- 敦煌經斷卷  
首尾欠。證論日此……顯現而爽
- 敦煌經斷卷  
首尾欠。若世間名……何以故須著盡
- 敦煌經斷卷  
表裝有り。首尾欠。入楞伽經……彼不慎諸邊

~20~

○ 教爐經斷卷 (六朝)

首尾欠。壽命更……毒虫之所

○ 教爐經斷卷

細字經。草字体。朱字あり。

○ 教爐經斷卷 (盛唐)

首尾欠。多羅三菴……受奉行

○ 教爐經斷卷 (唐)

首尾欠。不死則……一切凡夫欲爾

○ 教爐經斷卷 (初唐、六朝に近し)

首尾欠。破損長者給孤……承子

○ 教爐經斷卷 (盛唐)

首尾欠。名尸棄仏……三仏陀

○ 教爐經斷卷 (陳朝写經)

赤線入り。細字部門多し、首尾欠。分二部巻……此卷性

~21~

- 敦煌經断卷  
首尾欠。所行之地……一切智所  
(初唐、六朝に近し)
- 敦煌經断卷  
首尾欠。知是阿……菩提我  
(六朝、晋に近し)
- 敦煌經断卷  
首尾欠。本日……告之言  
(六朝)
- 敦煌經断卷  
(盛唐)
- 敦煌經断卷  
(盛唐)
- 敦煌經断卷  
(六朝)
- 敦煌經断卷  
(唐)
- 敦煌出土失名隋写經
- 大威德施陀羅尼經 第八

~22~

- 一切智々清淨無二無二分無別無斷故無住經
- 西國薄塔菴經  
言無翻字付き
- 宝鏡印陀羅尼經  
木版。完本。扉仏画あり。
- 古写經 無量壽經断卷
- 古写經断卷 二卷
- 細字經断卷
- 細字經残卷
- 細字經残卷
- 細字經残卷
- 北魏人写經卷

~23~

- 燈明經 完本。
- 勸善經 一卷
- 嘆法師品 第十八
- 觀世音經 首欠、尾完。
- 搗蒜札 完
- 和戒文断片
- 護念經
- 金條 晨夜十方懺 裏面書あり。
- 藏文迦羅尼經 断片
- 唐經卷断卷 三卷

(五代写経)

(六朝東晋)

~24~

○ 律本断片

○ 西域法宝遺韻

方南学人題

○ 子年三月五日寺院覚書

○ 九字之大事

○ 護身法

○ 金剛界

○ 仏画

○ 光緒二十七年十一月得千位度巫伽

取塔錫 借取贈四茶。木版経。

○ 天承江皇帝制日嘉謨重奏集元

彩色大字にて光緒三十年正月十五日の奥書あり。



~25~

- 天承運皇帝制日 龍駕 晴夫入宮  
必實於教功 輝海。宣統元年正月 式拾玖日。
- 壬振口  
光緒參拾年正月拾伍日。

~26~

以下日本の部

重要文化財

- 太子刷經 一卷

天平十二年三月十五日 藤原夫人願經にして、俗に元興寺經として名高い。

重要文化財

- 成唯識論述記 卷第九本（刊本）

附卷第二本殘卷

元暦二年七月二十四日抄点、良湛の奥書あり。

版式その他より判するに、寛治版の成唯識論に次ぐ古版本にして圖書日亮繪

藏本と同一である。

重美

- 増一阿含經 卷第四十七

天平十二年五月一日光明皇后御願經。

重美

- 統高僧伝 卷七

法隆寺住僧母文書写。原表紙、原軸あり。法隆寺一切經の墨印裏面にあり。

~27~

重美

- 統高僧伝 卷二十一  
法隆寺一切経。

重美

- 統高僧伝 卷二十八  
大治二年五月廿六日蓮尊が執筆せるは、法隆寺が学問所なりしことを証す  
な文献である。昭和廿二年十月十五、十七日、国立東京博物館にて展覧。

重美

- 仏説金剛手菩薩降伏一切部多大教王経 卷下  
高山寺本。大宋淳化五年正月 日取場列位。  
平安中期の写経であり、宋代の日中間の文化の交流を示す貴重資料。

- 大般若波羅蜜多経 卷第二三二  
春日版。原軸存。(田山春定)

- 大般若波羅蜜多経 卷第二三六  
平安末期。函号聖と表紙にあり。原表紙。原軸存。(田山春定)

~28~

- 大般若波羅蜜多經 卷第二三八  
平安末期。函号墨と表紙にあり。原表紙。原軸存。(田山審定)
- 大般若波羅蜜多經 卷第二八一  
延文五年仲秋上旬(一三六〇年) 尼理菩の奥書あり。
- 大般若波羅蜜多經 卷第二八一  
延文五年良子仲秋上旬、尼理菩の奥書あり。
- 大般若波羅蜜多經 卷第四五七  
平安中期。裏面に墨印あり。首尾欠。
- 大般若波羅蜜多經 卷第四九〇  
治承四年庚子五月二日奉書写の奥書あり。
- 大般若波羅蜜多經 卷第五七一  
平安末期。原軸存。(田山審定)
- 大般若波羅蜜多經 卷第五八二  
足利時代、平安後期。

~29~

○ 大般若波羅蜜多經  
下絵あり。

○ 大方広仏敎經 入法界品之下 五十四  
平安末期。首完尾欠。(田山春定)

○ 仏説集法悦捨菩提羅尼  
金剛山 宗然字

○ 大方等大集經 卷第十  
海靈菩薩品之二。延暦年間之写経。

○ 關山国師破尊宿夜話  
宗峯国師破尊宿夜話 伎翁偵禪師直述

○ 法隆寺一切経残卷

○ 紙背玉篇 弘法大師 (裏、宝篋印陀羅尼經 木版本)  
裏面世界最古の辞書。現存する唯一のもの。

○ 古写経 断巻  
室町初期或いは南北朝時代。裏面に「法興寺通達」の木版印あり。二十一張。一紙  
二十二行。一行十七字。

~30~

- 著成後記 卷上 天智師撰  
平安末期。
- 臨濟四偈
- 臨濟四偈
- 法隆寺百萬塔經卷註明書付き
- 經卷断片 三卷  
平安初期
- 百萬塔無垢淨光經  
法隆寺陀羅尼は神護景雲四年（宝龜元年、七七〇年）刊行。世界最古の印刷遺物。
- 前権僧正憲藻著 秘鈔第七 六字經  
萬治二年（光緒月九日）写。
- 一切経付属経映 神護寺旧蔵  
高尾神護寺に伝えられ、先年破損した竹に久安五年という墨書が発見された。周縁の綿及び裏の綾は文様の異つたものが幾種もあり、当時のものとして資料価値を有する。竹の裏と裏地の間には雲母がひいてある。国立博物館創設八十周年記念、日本染織美術特別展に陳列。

## 序

浜田徳海は昭和十三年大蔵書記官として上海駐在維新政府財政顧問となり、昭和十九年に再度中国に渡り、大使館参事官兼大蔵書記官中華民國国民政府財政顧問となり、二十一年帰朝迄、中国の史址を踏破して、英仏等の発掘にもかゝらず尚中国全土に四散していた古代重要経巻多数を蒐集した。その後国内に於いても重要文化財保護委員会等の援助を受けて、我が国に伝来し、国内で四散していた中国経巻と、和経の蒐集を続け、その若干の頃よりの深い宗教心と努力とにより、本コレクションを残したものである。

不幸病を得て昭和三十三年逝去したが、本コレクションが受継がれ、禅を中心とする仏教思想の原典としての宗教的価値と、墨蹟としての美術的価値並びに歴史的価値が、人類文化の為に正しく生かされて行つたならば、故人の意志は全うせられるであらう。

中国文字は漢代（二、〇〇〇年前）は隸書であり、六朝時代から楷書になり、唐時代（一、〇〇〇～一、三〇〇年前）にそれが完成された。我國の聖武天皇の天平十五年（一、二一〇年前）の写経には、その時代の中国よりの強い影響を見ることが出来る。

浜田コレクションは、太宗の愛好により書道の黄金時代を現出した唐時代を中心に六朝、魏、隋、唐、宋より明、清、中華民国に至る中国写経の逸品と、仏教が我が国に伝来した聖徳太子の大和時代（西歴六〇〇～七〇〇年）から聖武天皇、光明皇后の奈良時代、弘法大師の平安時代（西歴八〇〇～一、二〇〇年）の和経より成り、国立博物館や墨宝展に度々出陳された質量共に世界に誇り得る写経のコレクションである。

尚ほ敦煌写経とは、一八九九年（明治三十二年）から一九〇九年（明治

四十三年）にかけて、日本や西欧諸国の学者が中国の新疆省から甘肅省西部の敦煌にわたる地方の探検をして、王洞の発掘を中心に、それ迄知られなかつた貴重な資料を学界に紹介した内、写経関係で英国のスタイン探検隊（大英博物館所蔵）、仏国のペリオ隊（フランス国民図書館所蔵）、日本の本願寺隊がもたらした収穫のことを指してゐる。これ等の写経は、当時敦煌が、天山北路、全南路の分岐点にあたり、北はシベリヤからイラン、南はインド方面への交通の要路に當つていたことを示す。仏教、摩尼教、景教、祇教、道教、〔儒教〕などの漢訳経典を始め、ペルシヤ語、トルコ語、蒙古語、ギリシヤ語、ヘブライ語等の戯曲、小説まで含み、世界の歴史、宗教、美術、印刷技術等の研究に一大革命を起したのであるが、本コレクションは、本邦で最も優れたものである。尚、分類は便宜上経題別とした。





番号	題名	説明
1	重要文化財 神会荷沢語録残卷（敦煌出土） 一卷	唐貞元八年十月二十二日校勘の奥書あり。原軸存す。（昭二六・一・三〇〜二・一 大阪墨宝展説明文参照）
2	重要文化財 歴代法宝記（敦煌出土） 一卷	我国にはこの一卷を存するのみ。大英博物館・巴里国民図書館に各一卷宛存すのみ。書法亦大佳。
3	重要文化財 達摩絶観論 一卷	敦煌出土本中達摩大師所述として伝わっているものが二つあって、一つは「無心論」他はこの「絶観論」である。
4	重美 大般涅槃経 卷第二十三 代表的唐写経	李盛鐸旧蔵あり。（六八五年垂拱元年）見返し着色竜神像あり。
5	重美 般若波羅蜜放光経 卷第二十（首欠）	隋写経にしてかく完全なるものは極めて稀であるに加え、書体も代表的六朝写経である。
6	重美 仏説護国経（首欠） 一卷	大宋咸平二年十一月 日詛場列位。宋代の代表的写経であり、実に稀観の妙典である。
7	重美 維摩詰経（六朝古鈔） 卷下	晋代写経にしてかく完全なるものは珍しい。代表的六朝写経。首欠、尾題存。
8	重美 究竟大悲経 卷第一（首欠）	
9	重美 版本宝篋印陀羅尼経 木板 完本	杭州雷峯古塔蔵経。舜銘題字あり。扉仏画あり。
10	（敦煌出土経） 入楞伽経仏性品 第十一	
11	（敦煌石室所蔵唐人写） 法華経	
12	（敦煌出土唐写） 大方便仏報恩経 卷一	
13	（敦煌出土） 大通方広経 中卷 （初唐時代）	唐咸亨四年写。全長十八尺二寸五分。上卷松本文三郎。下卷大英博物館蔵。
14	（敦煌出土） 仏名経 断卷 （盛唐時代）	
15	（敦煌出土） 大方便仏報恩経 卷第二（初唐時代）	朱字経。黄麻紙。書法秀潤。

番号	題名	説明
16	(敦煌出土) 維摩詰經菩薩行品 第十二 断卷 (盛唐時代)	
17	妙法蓮華經 妙音菩薩品 第二十四	武徳六年三月七日の奥書あり。裏付古写経。
18	妙法蓮華經 卷第八 (初唐時代)	妙莊嚴王本事品第廿七及び普賢觀發品第廿八を収む。「彭法藏」。全長十一尺九寸九分。
19	妙法蓮華經 囑果品 第廿二	
20	妙法蓮華經 卷第四 (敦煌出土、完存、六朝時代)	藥草喩品の内「爾時大通知勝如来」より始まる。尾題存。全長八尺三寸。
21	妙法蓮華經 卷第六 (六朝初、晋に近し)	
22	妙法蓮華經 卷第六 (初唐)	首題妙法蓮華經常不輕菩薩品第廿。尾題存。
23	妙法蓮華經 従第五至第七	
24	妙法蓮華經 安樂行品第十四 (初唐(六朝末))	盛唐時代の細字経、原装を存す稀品なり。
25	妙法蓮華經 残卷 (中唐写)	
26	妙法蓮華經 葉王菩薩本事品第廿二 (盛唐) 中唐時代)	
27	妙法蓮華經 譬喩品第三 (重載 P.11、P.12)	中村不折審定
28	妙法蓮華經 卷第二 (盛唐)	譬喩品第三より信解品第四に至る。完存。顕慶五年三月十四日の奥書あり。
29	妙法蓮華經 卷第四	
30	妙法蓮華經 卷第七	

31	妙法蓮華經 卷第五	分別功德品第十七 授記品第六
32	妙法蓮華經 卷第四 (晩唐)	第五百弟子受記品第八より持品第十三に至る。完存。
33	妙法蓮華經 卷第三 (唐代)	
34	妙法蓮華經 妙壯嚴王本事品 第廿七	
35	妙法蓮華經 卷第二 殘卷	菩薩戒弟子令狐文達敬造
36	妙法蓮華經 隨喜德品第十八	古版経
37	大般涅槃經 卷第十一 北涼曇天識訳 (中唐)	聖行品第十九より始まり完存。全長三十八尺五寸六分。
38	大般涅槃經 卷第卅七 (隋又は初唐時代)	
39	大般涅槃經 (六朝、隋若くは少し以前)	
40	大般涅槃經 第一 (六朝)	開皇十七年四月十日の奥書あり。首欠尾完。
41	大般涅槃經 卷第廿六 北涼曇天識訳 (盛唐)	首欠「爾時世界讚言」より始まる。尾題存す。全長十七尺九寸。
42	大般涅槃經 卷第十五	隋大業四年十二月十五日の奥書あり。
43	大般涅槃經 卷第卅一 (敦煌出土、初唐)	完存。全長二十五尺四寸六分。一紙四尺八寸に及ぶ長麻紙使用。
44	大般涅槃經 卷第卅七 (六朝)	首欠。尾題存。書法の遊動にして妍雅なることその比を見ず。
45	大般若波羅蜜多經 卷第廿七 (中唐)	首欠。全長二十三尺六寸七分。
46	大般若波羅蜜多經 卷第六十七 (六朝)	懷惠勸奥書あり。

番号	題名	説明
47	大般若波羅蜜多經 卷第九十四 (初唐)	完存。
48	大般若波羅蜜多經 卷第一百七十四 (初唐)	完存。
49	大般若波羅蜜多經 卷第二八四 (初唐)	首欠、尾題存。
50	大般若波羅蜜多經 卷第三五一 (敦煌出土、唐又は五代)	見返し扉絵、彩色菩薩図。一馬題。
51	大般若波羅蜜多經 卷第三二八 (晩唐)	首欠。「識真如甚深故」より始まる。尼妙相写の奥書あり。全長二十一尺二寸七分。／軸付に「大蕃歲次戊戌年三月二十五日学生張子■本写故記之也」とあり。
52	大般若波羅蜜多經 卷第四八四	建中二年歲次辛酉十二月朔日仏弟子徐浩敬書の奥書あり。完存。全長二十七尺七寸三分。
53	大般若波羅蜜多經 卷第四八五	制長安西明寺正字。「大周長安三年歲次癸卯七月丙辰朔四月壬戌王藏法師」の奥書あり。
54	大般若波羅蜜多經 卷第五二三 (初唐)	制長安西明寺正字朱印。三藏法師の奥書あり。
55	大般若波羅蜜多經 卷第五二三	制長安西明寺正字朱印。三藏法師の奥書あり。
56	大般若波羅蜜多經 卷第五三九 (晩唐)	尾欠。全長十九尺二寸五分。
57	大般若波羅蜜多經 卷第五九三 (初唐)	首欠、尾題あり。光際写の奥書あり。
58	大般若波羅蜜多經 殘卷	完存。
59	大般若波羅蜜多經 新菩薩經 一卷	完存。
60	金剛般若波羅蜜多經	完存。
61	金剛般若波羅蜜多經 (盛唐)	原軸存。完存。全長十八尺四寸六分。

62	波羅蜜多經 断卷 第六十六卷 第五	
63	仏名経 残卷 (六朝)	
64	仏名経	
65	仏名経	
66	仏名経 断卷 (晚唐)	
67	仏名経 残卷	彩色仏画入り。
68	仏名経	彩色仏画入り。一行一体十二体。
69	仏名経 卷第三 (唐)	敦煌千仏洞より出る。光緒貳拾伍年。
70	千仏名経断片	仏画付。
71	正法華経 卷第七 (板本) 西晋竺法護訳	金藏経、広勝寺版。見返し版画釈迦説法図。右上に「趙城県広勝寺」とあり。/ 金正隆二年閏。全長三十四尺六寸三分。
72	法華経 卷第二	
73	金光明経 卷第四 (中唐)	流水長者子品第十六より始まり完存。奥に「浄土寺藏経」の墨印あり。全長二十三尺七寸六分。
74	金光明経 卷第六	頭欠尾完。
75	金光明経 卷第九 (晚唐)	完存。
76	金光明最勝王経 卷第十 (晚唐)	
77	金光明経	福州開元寺之印。木版経。

番号	題名	説明
78	虚空藏菩薩神呪經	金藏經。原表紙原軸、原紐付完本。
79	金七十論 上一卷	金藏經。趙城県広勝寺板。見返り、木版仏画あり。
80	金七十論 下一卷	金藏經。趙城県広勝寺板。見返り、木版仏画あり。
81	阿毗達磨發智論 卷第八	趙城県広勝寺板。
82	阿毗達磨發智論 卷第八	金槧。正隆二年刊。
83	阿毗達磨發智論 卷第十	金槧。正隆二年刊。
84	仏説菩薩念誦三昧經 卷第六	金藏經。補鈔本 一卷。
85	仏説菩薩念仏三昧經 卷第六	唐、木版経。見返り扉絵あり。
86	仏説大乘莊嚴宝王經 卷第三	金大藏經。見返仏画。
87	大乘无量寿經 (中唐) 隋、仏頂尊勝陀羅尼神呪	唐経神蹟。細字経。完存。全長七尺七寸。西藏文字のみえたるは珍らしい。
88	仏説八陽神呪經 (中唐)	首欠。奥書、清信俗弟子瓜州行軍兵馬都倉曹盧安多發心抄写持誦一心受持。／別筆 比丘遠真勘定。
89	仏説八陽神呪經	太平興国九年歲次乙酉年十月五日。甲申年五月六日報恩寺榮経提の裏書あり。
90	仏説解百生怨家陀羅尼經 (五代)	完本
91	仏説尊勝陀羅尼經 (五代)	
92	仏説釈摩男經	唐人写。善祥題。

93	諸星母陀羅尼經	
94	仏説法句經 冊子本 (晩唐)	一頁五行。全六十頁。
95	仏説薬師經 (盛唐)	
96	仏説薬師經	見返り扉絵。彩色仏画あり。
97	薬師經 三十五 (六朝)	首欠。尾題存。
98	仏説阿弥陀經 (六朝人写經)	大唐景竜四年歳以浄成四月壬午朔十五日。朱印あり。
99	大方広仏華嚴經 卷第二十六	見返り扉絵あり。
100	華嚴經 卷五十一	
101	大雲无想經 卷第九 姚秦竺仏念訳 (晋代)	清信女張宜叢所供養經。歳在水卯正月十一日写。全長十四尺七寸三分。
102	大方広十輪經 卷第七	唐時代木版経。見返り扉絵あり(木版)。
103	大方便仏報恩經 第二	宋木版経。見返り扉絵あり(木版)。
104	大方便仏報恩經 第二	盛唐時代の写経中、稀に見る精品。原軸。
105	思益梵天所問經 第一 (中唐)	原装存、完本。尾題「思益経卷第一」。表紙は「仏本行集経卷第五十四」のものを加せり。表紙に「瓜沙州大塋印」の朱印半分存。全長二十四尺八寸九分。
106	思益梵天所問經 卷第一、第二 (細字経) (中唐)	瓜沙経の印あり。全長二十九尺三寸六分。中村不折審定。
107	方便品 第二 弟子品 第三 (六朝)	
108	維摩詰経	

番号	題名	説明
109	維摩經 上卷 (晩唐)	首欠、尾題存。
110	維摩詰經 残卷	
111	西藏文字藏經 (晩唐)	黄得道経卷 一卷 十八張
112	西藏文字藏經 (晩唐)	六張
113	西藏文字藏經	黄得道経卷 断卷。首欠、尾存。
114	西藏文字藏經 一卷 (南宋)	
115	写経古代中央亜細亜語	朱字、細字、木版経十二卷。
116	写経古代中央亜細亜語	朱木版経四卷。
117	写経古代中央亜細亜語 二十卷	
118	楞伽經 卷第四 法成訳 (盛唐)	首欠、尾完、尾題存。
119	四分戒本 後秦仏陀耶舎訳 (晩唐)	二筆分写。完存、全長三十二尺三寸三分。中村不折審定。
120	羯磨文 一卷 (六朝)	細字経。首尾欠。麻紙。全長十二尺五寸五分。
121	羯磨本 残欠本	西魏頃以前。
122	浄名経関中疏 唐道掖撰	細字経。浄名経注疏として有名。現存は、仏及び英博物館及び本巻のみ。／盛唐時代の原装を存せる一大長巻。
123	浄名関中釈批巻 巻上	乙日年常共記の奥書あり。



124	大智度論 卷第十七 (六朝)	首欠。「三昧願智者」より始まる。尾題「大智度論第十七」。全長十四尺六寸一分。
125	大智度經 卷第廿一 断卷 (六朝)	
126	觀世音普門品	
127	道教叢書 残卷	六朝人写。
128	大仏頂萬行首楞嚴經 卷第三 断卷 唐 般刺蜜帝訳 (盛唐)	首欠。「別計度但有」より始まる。尾題存。
129	大仏頂首楞嚴經 卷第九 (中唐)	如来蜜回修証了義諸菩薩萬行。完存。首楞嚴經中古写経としては殆ど最古のもの。
130	大唐垂拱元禾勅書大乘顯識經 卷上	
131	唐人書経	
132	敦煌経断卷 (初唐)	首尾欠。界種留……世月
133	敦煌経断卷 (初唐、草字経)	首尾欠。二雨然中……心中悟
134	敦煌経断卷 (唐から五代頃)	細字経釈義。
135	敦煌経断卷 (唐)	
136	敦煌経断卷	
137	敦煌経断卷	首尾欠。體論日此……顯現而実
138	敦煌経断卷	首尾欠。若世間名……何以故須菩薩
139	敦煌経断卷	表装有り。首尾欠。入楞伽経……彼不慎諸還

番号	題名	説明
140	敦煌経断卷 (六朝)	首尾欠。寿命更……毒虫之所
141	敦煌経断卷	細字経。草字体。朱字あり。
142	敦煌経断卷 (盛唐)	首尾欠。多羅三藐……受奉行
143	敦煌経断卷 (唐)	首尾欠。不死則……一切凡夫欲循
144	敦煌経断卷 (初唐、六朝に近し)	首尾欠。破損長者給孤……采子
145	敦煌経断卷 (盛唐)	首尾欠。名尸棄仏……三仏陀
146	敦煌経断卷 (陳朝写経)	赤線入り。細字部門多し。首尾欠。分二部僧……比丘此性
147	敦煌経断卷 (初唐、六朝に近し)	首尾欠。所行之处……一切智所
148	敦煌経断卷 (六朝、晋に近し)	首尾欠。知是阿……菩提我
149	敦煌経断卷 (六朝)	首尾欠。尔日……告之言
150	敦煌経断卷 (盛唐)	
151	敦煌経断卷 (盛唐)	
152	敦煌経断卷 (六朝)	
153	敦煌経断卷 (唐)	
154	敦煌出土失名隋写経	

170	掲諦札 完	
169	観世音経	首欠。尾完。
168	嘆法師品 第十八	
167	勸善経 一卷	
166	證明経 (五代写本)	完本。
165	北魏人写経卷	
164	細字経残卷	
163	細字経残卷	
162	細字経残卷	
161	細字経残卷	
160	古写経断卷 二卷	
159	古写経 無量義経断卷 <sup>(7)</sup>	
158	寶篋印陀羅尼経	木版。完本。扉仏画あり。
157	西関磚塔藏経	曾熙題字付き
156	一切智々清浄無二無二分無別無断故無性経	
155	大威徳施陀羅尼経 第八	

番号	題名	説明
171	和戒文断片	
172	護念經	
173	金録晨夜十方懺	裏面書あり。
174	識又迦羅尼經 断片 (六朝東晋)	
175	唐經卷断卷 三卷	
176	律本断片	
177	西域法宝遺韻	方南学人題
178	子年三月五日寺院覚書	
179	九字之大事	
180	護身法	
181	金剛界	
182	仏画	
183	光緒二十七年十一月得干位度亜伽	取塔錫 僧取贈四葉。木版経。
184	天承運皇帝制日嘉謨重奕葉元	彩色大字にて光緒三十年正月十五日 of 奥書あり。
185	天承運皇帝制日誼篤請共入官	必資於敬功蹕滌。宣統元年正月式拾玖日。

光緒參拾年正月拾伍日。

番号	題名	説明
187	重要文化財 太子刷護経 一卷	天平十二年三月十五日 藤原夫人願経にして、俗に元興寺経として名高い。
188	重要文化財 成唯識論述記 卷第九本（刊本）	附卷第二本残卷／元暦二年七月二十四日移点。良湛の奥書あり。／版式その他より判ずるに、寛治版の成唯識論に次ぐ古版本にして国宝日光輪王寺蔵本と同一である。
189	重美 増一阿鎔経 卷第四十七	天平十二年五月一日光明皇后御願経。
190	重美 統高僧伝 卷七	法隆寺住僧尋亥書写。原表紙、原軸あり。法隆寺一切経の墨？印裏面にあり。
191	重美 統高僧伝 卷二十一	法隆寺一切経。
192	重美 統高僧伝 卷二十八	大治二年五月廿六日暹尊が執筆せるは、法隆寺が学問所なりしことを証する□ □／な文献である。昭和廿二年十月十五〜十七日、国立東京博物館にて展覧。
193	重美 仏説金剛手菩薩降伏一切部多大教王経 卷下	高山寺本。大宋淳化五年正月 日詛場列位。／平安中期の写経であり、宋代の日中間の文化の交流を示す貴重資料。
194	大般若波羅蜜多経 卷第二三二	春日版。原軸存。（田山審定）
195	大般若波羅蜜多経 卷第二三六	平安末期。函号聖と表紙にあり。原表紙。原軸存。（田山審定）
196	大般若波羅蜜多経 卷第二三八	平安末期。函号聖？と表紙にあり。原表紙。原軸存。（田山審定）
197	大般若波羅蜜多経 卷第二八一	延文五年仲秋上旬（一三六〇年）尼理善の奥書あり。
198	大般若波羅蜜多経 卷第二八一	延文五年良子仲秋上旬、尼理善の奥書あり。
199	大般若波羅蜜多経 卷第四五七	平安中期。裏面に墨印あり。首尾欠。

200	大般若波羅蜜多經 卷第四九〇	治承四年庚子五月二日奉書写の奥書あり。
201	大般若波羅蜜多經 卷第五七一	平安末期。原軸存。(田山審定)
202	大般若波羅蜜多經 卷第五八二	足利時代、平安後期。
203	大般若波羅蜜多經	下絵あり。
204	大方広仏嚴經 入法界品之下 五十四	平安末期。首完尾欠。(田山審定)
205	仏説集法悦捨苦陀羅尼	金剛寺 宋然 <sub>(マ)</sub> 字
206	大方等大集經 卷第十	海慧菩薩品之二。延暦年間之写経。
207	関山国師破尊宿夜話 宗峯国師破尊宿夜話	伎翁偵禪師直述
208	法隆寺一切経残卷	
209	紙背玉篇 弘法大師〔表、宝篋印陀羅尼経 本版本〕	裏面世界最古の辞書。現存する唯一のもの。
210	古写経 断卷	室町初期或いは南北朝時代。裏面に「浅間寺勧進」の木版印あり。二十一張。一紙/二十二行。一行十七字。
211	菩薩戒義記 上卷 天智師撰	平安末期。
212	臨濟四偈	
213	臨濟四偈	
214	法隆寺百萬塔経卷証明書付き	
215	経卷断片 三卷	平安初期

番号	題名	説明
216	百萬塔無垢淨光經	法隆寺陀羅尼は神護景雲四年（宝龜元年、七七〇年）刊行。世界最古の印刷遺物。
217	前権僧正憲藻著 秘鈔第七 六字經	萬治二年紀臘月九日写。
218	一切經付属經帙 神護寺旧蔵	高尾神護寺に伝えられ、先年破損した竹に久安五年という墨書が発見された。周／縁の綿及び裏の綾は文様の異ったものが幾種かあり、当時のものとして資料価値を有する。竹の簀と裏地の間には雲母がひいてある。国立博物館創設八十周年記念、日本染織美術特別展に陳列。